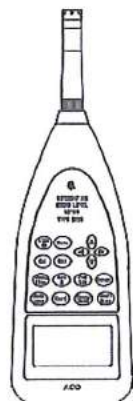


1/1、1/3 オクターブ実時間分析カード 使用方法

※実画面では”Filter Card”と表示します。

カード装着

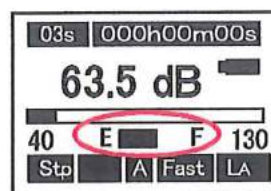
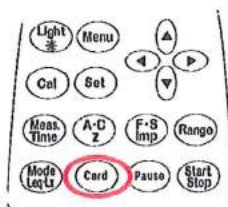
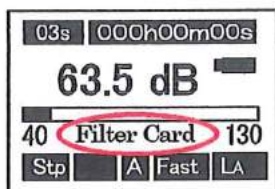


カードを挿入します。



(カード)

起動

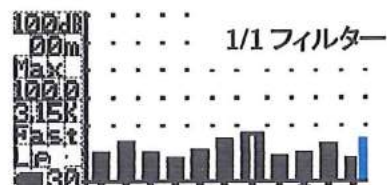
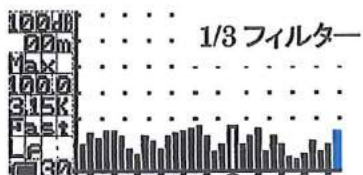


①”Filter Card”が点灯します。

②[Card]キーを押します。

③カード容量を表示します。

フィルター選択

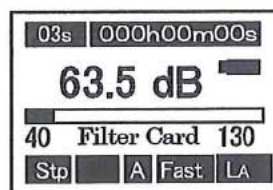
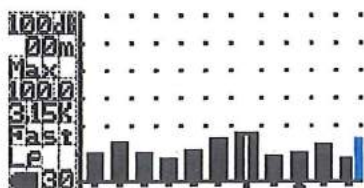


④[Card]キーを押す毎に 1/3、1/1 フィルターが切り替わり、使用可能な状態になります。

【カードを挿入したまま電源 ON した時】

1/3、1/1 オクターブ実時間分析カードを挿入したまま、電源スイッチを ON すると、カードが自動認識され、フィルター画面になり使用可能な状態になります。
前回使用終了時の計測条件の状態になります。

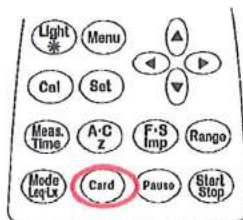
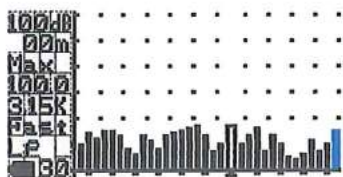
停止



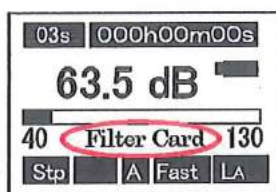
⑤[Card]キーを長押しすると、測定画面へ戻ります。

カード取り出し

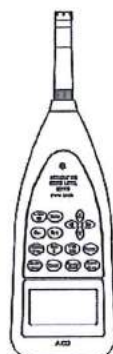
●フィルター画面起動時



①[Card]キーを長押し、測定画面へ戻ります。



②“Filter Card”が点灯していることを確認します



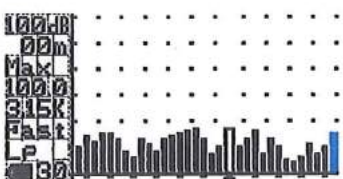
③カードを取り出します。



【※注意】

“Filter Card”点灯後、しばらくしてカードを取り出してください。
すぐに取り出すと『Card ERR』が表示されたり、ファイルが破損する場合があります。

カードデータ削除



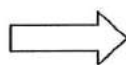
①フィルター画面を起動します。
[Card]キーを押し、1/1 又は 1/3 フィルター画面を選択します。

②カード装着状態で[Set]キーの長押しをします。

Data all Clear
1/1
Yes=Start
No= Set

又は

Data all Clear
1/3
Yes=Start
No= Set



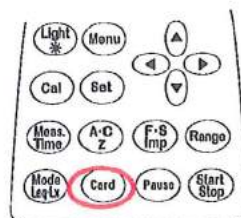
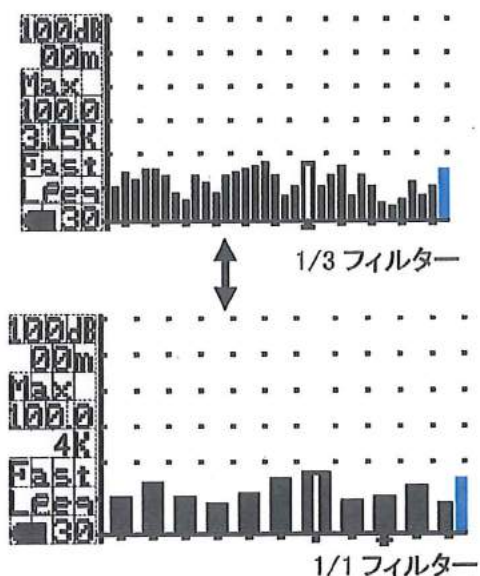
Sure ?
Yes=Start
No= Set

③画面操作の流れに沿って、全データを削除し、元の画面に戻ります。

Leq/Le/Lmax の計測

計測を開始すると、Leq/Le/Lmax が計測されます。

[Card]キーを押し、1/1 又は 1/3 フィルター画面を選択します。



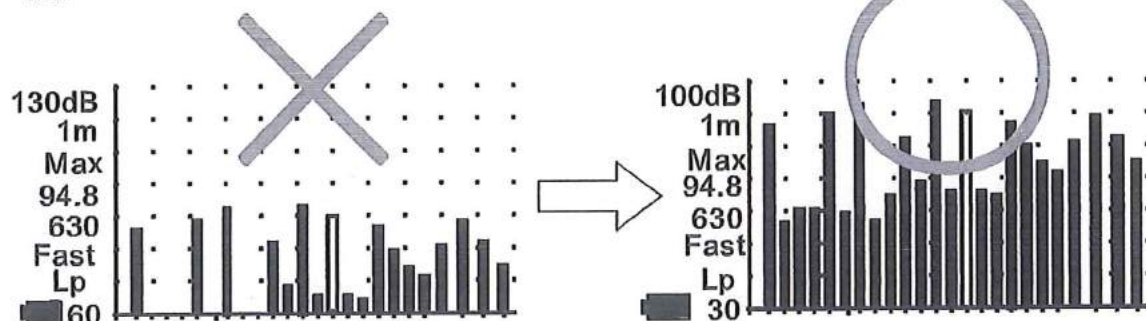
[Card]キーを押す毎に
1/3、1/1 のフィルター
画面に切り替わります。

【※注意】

全帯域の棒グラフが表示されるようレンジを設定してください。

「Ov」または「Un」が表示される場合はレンジ設定を変更してください。

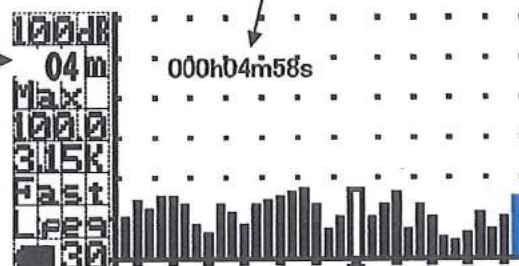
(例)



[Start/Stop]キーで計測します。

[Menu]キーを押すと時・分・秒単位で
カウントダウン(残り時間を表示)します。

計測中は計測時間が
1 秒毎に点滅します。



<取得データ内容例(csv 形式のファイルとして記録されます)>

[Start]キーが押される毎にファイルが作られます。 <ファイル名：001.csv～999.csv>

【Single】 1 データ <Leq/Le/Lmax>/ファイル)

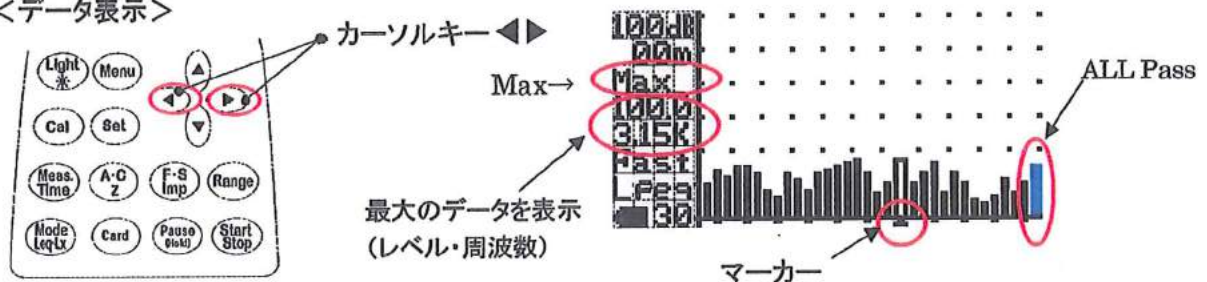
	計測日	計測時刻	時定数	レンジ	計測時間	周波数			
Mode	Measurement day	Measurement time	Time-weight	Level Range	Time setting	16	31.5	63	...
Lpeq	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	36.5	37	33.9	...
Lpe	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	41.5	41.8	38.6	...
Lpmax	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	39	39	34.8	...

【Repeat】 複数データ<Leq/Le/Lmax>/ファイル)

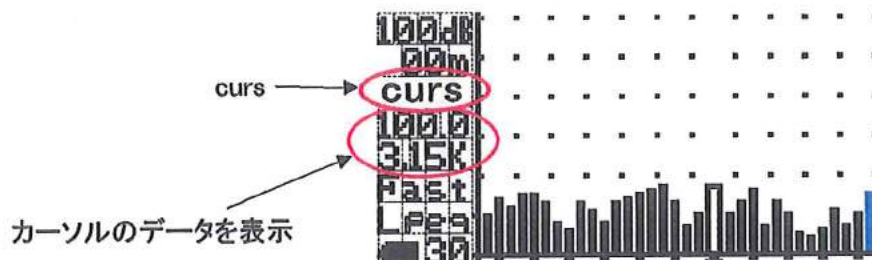
Mode	Measurement day	Measurement time	Time-weight	Level Range	Time setting	16	31.5	63	...
Lpeq	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	36.5	37	33.9	...
Lpe	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	41.5	41.8	38.6	...
Lpmax	2009/4/14	12:16:58	F	100dB	000h00m01s	39	39	34.8	...
.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
Lpeq	2009/4/14	12:20:58	F	100dB	000h00m01s	36.5	37	33.9	...
Lpe	2009/4/14	12:20:58	F	100dB	000h00m01s	41.5	41.8	38.6	...
Lpmax	2009/4/14	12:20:58	F	100dB	000h00m01s	39	39	34.8	...

1/1 オクターブフィルター計測時のデータ記録

<データ表示>



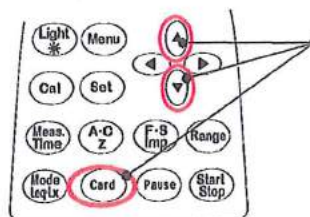
- ・直後の表示は、最大値を表示します。
- ・カーソルキー ◀▶ でマーカーを左右へ移動でき、その時の数値(レベル)と周波数を表示します。
- ・画面表示から初めてカーソルキー ◀▶ を入力すると、数値表示“Max”が“Curs”へ変更されカーソルのデータである事を表示します。
- ・”Max”表示に戻るには、一番右もしくは、一番左のデータの次を選択します。
- ・カーソル長押しで早いデータ移動ができます。
- ・ALL Pass は、周波数表示部が“AP”表示となります。



リスト表示

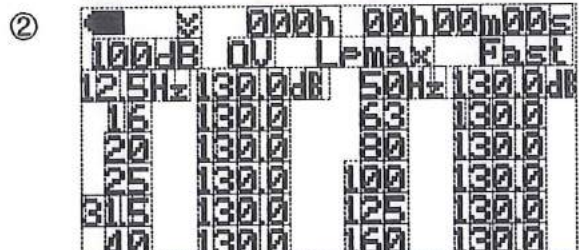
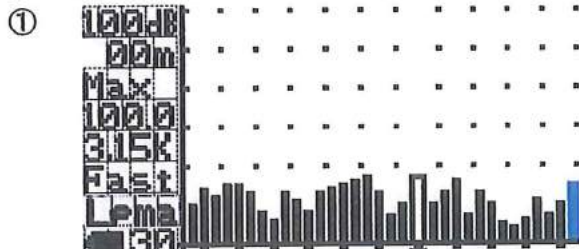
カーソル[↑],[↓]キー選択で、リスト表示に切り替わります。

[Card]キー選択でバー表示に戻ります。

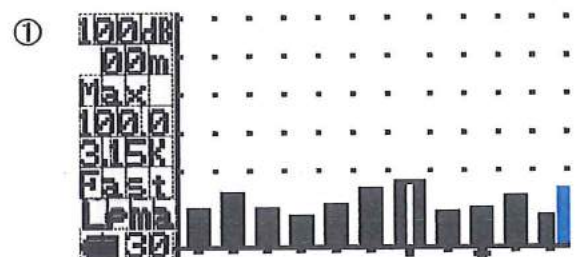


画面切替

【1/3 フィルター】



【1/1 フィルター】



カーソル[↑],[↓]キー選択 → ②へ

[Card]キー選択 → ①へ

カーソル[↑]キー選択 → ②へ

カーソル[↓]キー選択 → ④へ

12.5Hz~160Hz のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ④へ

カーソル[↓]キー選択 → ③へ

[Card]キー選択 → ①へ

200Hz~2.5kHz のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ②へ

カーソル[↓]キー選択 → ④へ

[Card]キー選択 → ①へ

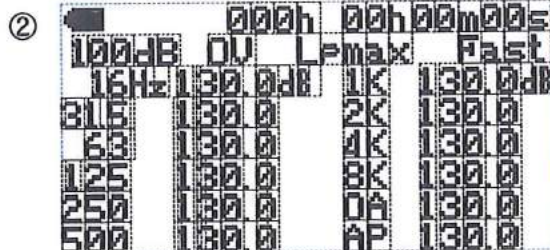
3.15kHz~16kHz, OA, AP のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ③へ

カーソル[↓]キー選択 → ②へ

[Card]キー選択 → ①へ

16Hz~8kHz, OA, AP のリスト表示



【AP(ALLPASS)とOA(OVERALL)の意味】

AP...AC 出力(瞬時音圧)信号から、直接平均全パワー(実効値)をレベル化して表示した値です。

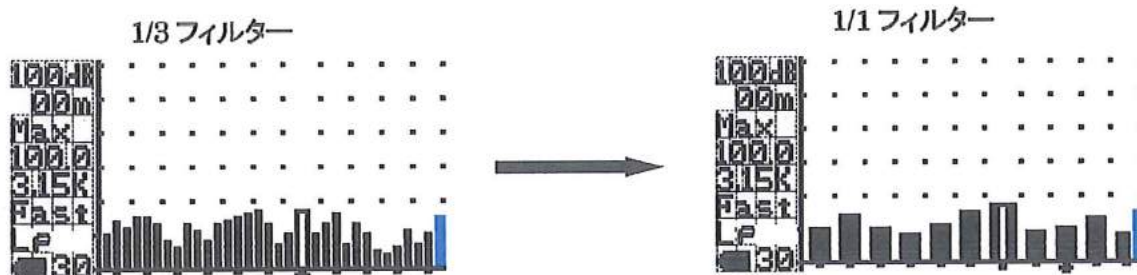
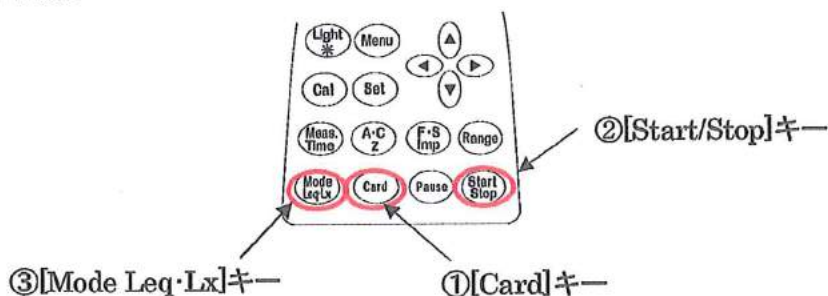
OA...AC 出力(瞬時音圧)信号を 1/1,1/3 オクターブ分析した結果から表示した値です。

この為 AP と OA の値に差がでる場合があります。

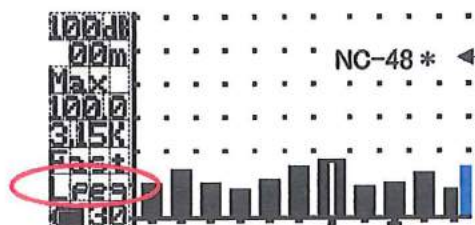
NC 値の計測

1/1 フィルター、Z 特性で計測した場合、Lpeq/LpE/Lpmax の画面に NC 値が表示されます。

【操作手順】



- ① [Card]キーを押し 1/1 フィルター画面に切り替えます。
- ② レンジ等の計測条件を設定し、[Start/Stop]キーを押し計測を開始します。



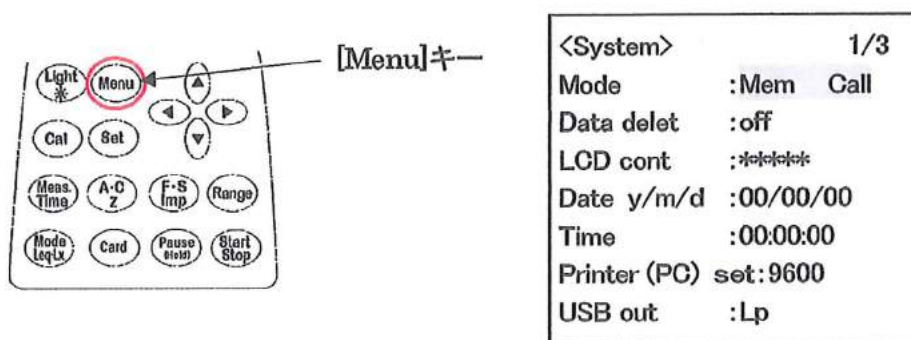
NC 値
NC-15～NC-70 までの規定以外の NC 値の場合、
相当の意味で右側に「*」が表示されます。
例：NC-48 *
NC-48 相当という意味です。

- ③ [Mode Leq Lx]キーを押して、Lpeq/LpE/Lpmax のいずれかのモードにします。
1/1 フィルター画面に NC 値が表示されます。

※NC 値の規定は、NC-15～NC-70 まで 5dB 単位となります。
※NC-70 より上の場合は、「>NC-70」が表示されます。
※NC-15 より下の場合、及び未計測の場合は、「<NC-15」が表示されます。

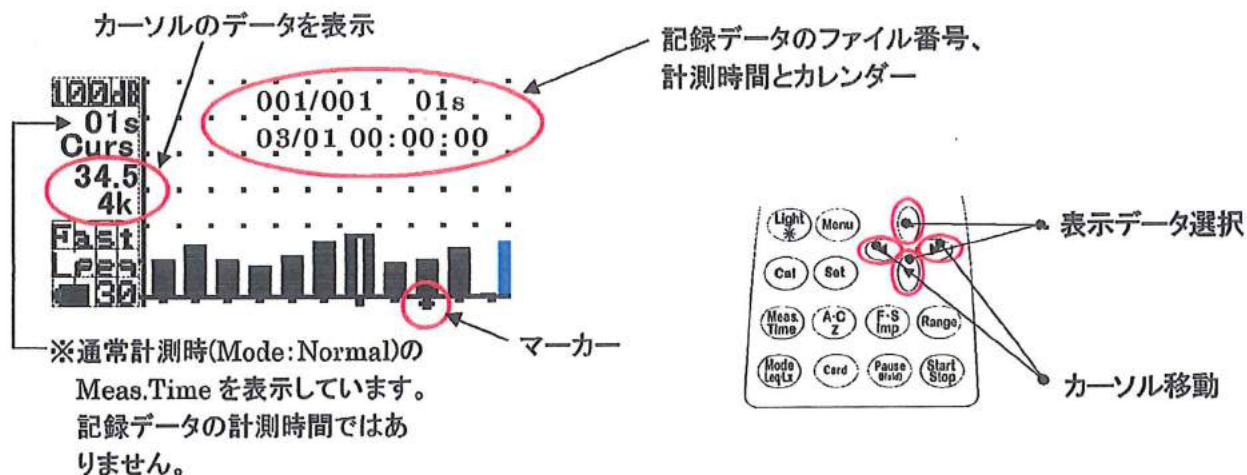
記録データ表示

フィルター画面表示で、<System> 1/3 画面を表示し、Mem call を選択します。
(※通常モード表示からの Mem Call では、通常の Memory 表示となります。)

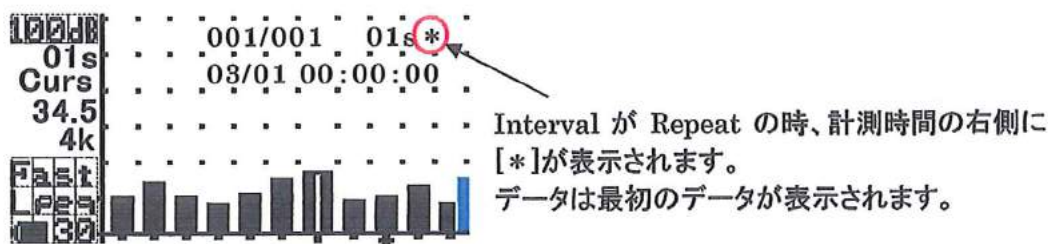


Mode でカーソルキー ▶ を押して右に移動し、カーソルキー ▲ ▼ で Mem Call を選択し [Set] キーで登録します。

【Interval が Single の時】



【Interval が Repeat の時】

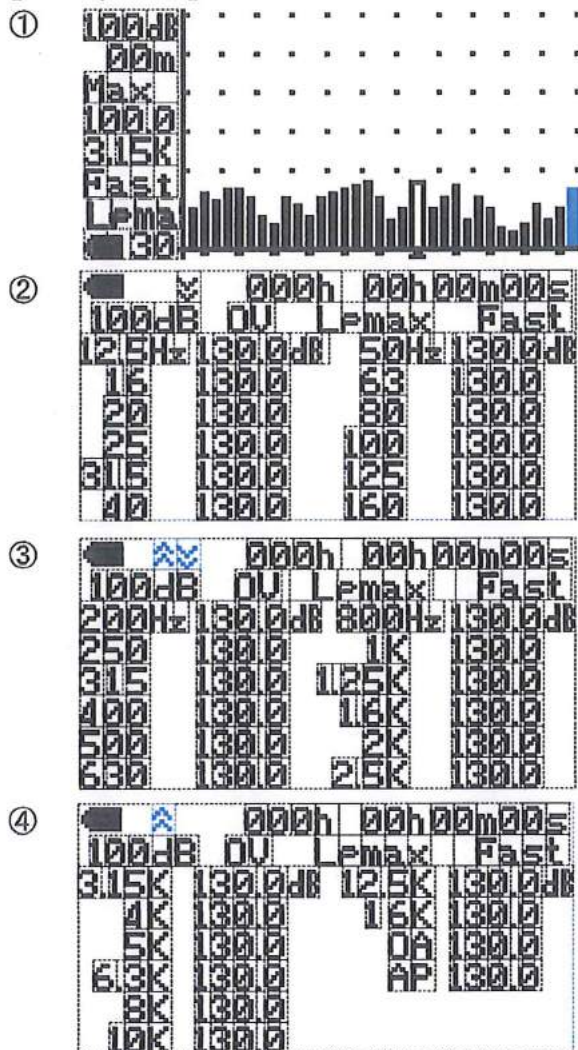


- ・直後の表示は、最大値を表示します。
- ・カーソルキー ◀ ▶ でマーカーを左右へ移動でき、その時の数値(レベル)と周波数を表示します。
- ・画面表示から初めてカーソルキー ◀ ▶ を入力すると、数値表示“Max”が“Curs”へ変更されカーソルのデータである事を表示します。
- ・”Max”表示に戻るには、一番右もしくは、一番左のデータの次を選択します。
- ・カーソル長押しで早いデータ移動ができます。
- ・ALL Pass は、周波数表示部が“AP”表示となります。

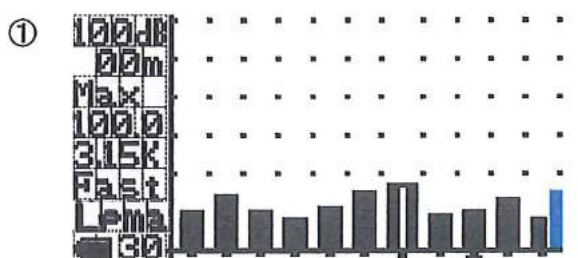
記録データのリスト表示

1. [Pause]キー選択で、バー表示内の記録データのファイル番号、計測時間、カレンダー表示を非表示にします。
2. カーソル▲▼キー選択でリスト表示に切り替わります。
[Card]キー選択でバー表示に戻ります。
3. [Pause]キー選択で、バー表示内のファイル番号、計測時間、カレンダーが表示され、リスト表示前の状態に戻ります。

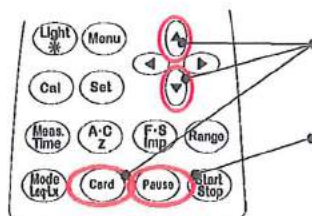
【1/3 フィルター】



【1/1 フィルター】



カーソル[↑], [↑]キー選択 → ②へ
[Card]キー選択 → ①へ



画面切替

記録データの
ファイル番号、
カレンダー表示切替

カーソル[↑]キー選択 → ②へ
カーソル[↓]キー選択 → ④へ

12.5Hz～160Hz のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ④へ
カーソル[↓]キー選択 → ③へ
[Card]キー選択 → ①へ

200Hz～2.5kHz のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ②へ
カーソル[↓]キー選択 → ④へ
[Card]キー選択 → ①へ

3.15kHz～16kHz, OA, AP のリスト表示

カーソル[↑]キー選択 → ③へ
カーソル[↓]キー選択 → ②へ
[Card]キー選択 → ①へ

16Hz～8kHz, OA, AP のリスト表示



ST 株式会社 佐藤商事
SATO SHOUJI INC.

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス5階

☎ 044-738-0622

FAX : 044-738-0623

<http://www.ureruzo.com>